特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名	
2	住民基本台帳ネットワークに関する事務書	基礎項目評価

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

福岡県は、住民基本台帳ネットワークに関する事務における特定個人情報ファイルを取扱うにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを理解し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置をもって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを、ここに宣言する。

特記事項

・当該システムは、委託先である地方公共団体情報システム機構が、障害や不正アクセス等を24時間監視している。

・生体認証による操作者認証の導入やアクセス権限の適切な管理等により、事前に利用者登録をされている者以外が不正にシステムを利用することができない仕組みとなっている。

・利用者がシステムを利用した際に履歴が残る仕組みとなっており、当該履歴をもとに、不正な利用がないか随時確認を行っている。

・当該機構からの通知に基づき、OSのアップデートやウイルス対策ソフト等の更新を随時行っているほか、ファイアウォール等により論理的にインターネットと接続できない状態にしている。

評価実施機関名

福岡県知事

公表日

令和7年3月17日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 住民基本台帳ネットワークに関する事務 ①事務の名称 住民基本台帳ネットワークに関する事務は、「1. 本人確認情報の管理及び提供等に関する事務」及び 「2. 附票本人確認情報の管理及び提供等に関する事務」に分かれる。 1. 本人確認情報の管理及び提供等に関する事務 福岡県は、住民基本台帳法(昭和42年7月25日法律第81号。以下「住基法」という。)に基づいて住民基 本台帳のネットワーク化を図り、全国共通の本人確認システムを市町村と共同して構築している。 なお、住民基本台帳は、住基法に基づき作成されるものであり、市町村における住民の届出に関する 制度及びその住民たる地位を記録する各種の台帳に関する制度を一元化し、もって、住民の利便を増 進するとともに行政の近代化に対処するため、住民に関する記録を正確かつ統一的に行うものであり、 市町村において、住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録、その他住民に関する事務の処理の基 礎となるものである。 具体的に福岡県では、住基法の規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。 ①磁気ディスクによる特定個人情報ファイルの管理 ②市町村からの本人確認情報(*)に係る変更の通知に基づく特定個人情報ファイルの更新 及び地方公共団体情報システム機構(以下「機構」という。)への通知 ③福岡県知事から本人確認情報に係る福岡県のその他の執行機関への提供又は他の部署への移転 ④住民による請求に基づく当該個人の本人確認情報の開示並びに開示結果に基づく 住民からの本人確認情報の訂正、追加又は削除の申出に対する調査 ②事務の概要 ⑤機構への本人確認情報の照会 *本人確認情報とは、4情報(氏名、性別、生年月日及び住所)、住民票コード、個人番号及びこれらの 変更情報のことをいう。以下同じ。 2. 附票本人確認情報の管理及び提供等に関する事務 福岡県は、市町村における市町村CS、都道府県における附票都道府県サーバ及び機構における附票 全国サーバ等により構成される「附票連携システム」において、国外転出者に係る本人確認を行うため の社会的基盤としての役割を担うため、4情報(氏名、住所、生年月日、性別)、住民票コード及びこれら の変更情報で構成される「都道府県知事保存附票本人確認情報ファイル」を作成し、戸籍の附票に関 する記録を正確に行う責務がある。そのため、附票本人確認情報の管理及び提供等に係る以下の事 務を実施する。なお、都道府県知事保存附票本人確認情報(以下条文に併せて記載する場合は、「都 道府県知事保存附票本人確認情報」とし、それ以外の記載は、「附票本人確認情報」とする。)には、個 人番号は含まれない。 ①磁気ディスクによる特定個人情報ファイルの管理 ②市町村からの附票本人確認情報に係る変更の通知に基づく特定個人情報ファイルの更新及び機構 への涌知 ③福岡県知事から附票本人確認情報に係る福岡県の他の執行機関への提供又は他部署への移転 ④住民による請求に基づく当該個人の附票本人確認情報の開示並びに開示結果に基づく住民からの 附票本人確認情報の訂正、追加又は削除の申出に対する調査 ⑤機構への附票本人確認情報の照会 (1)住民基本台帳ネットワークシステム (2)附票連携システム ※後述の「2. 特定個人情報ファイル名」に示す「都道府県知事保存本人確認情報ファイル」及び「都道 府県知事保存附票本人確認情報ファイル」は、住民基本台帳ネットワークシステム及び附票連携システ ③システムの名称 ムの構成要素のうち、都道府県サーバ及び附票都道府県サーバにおいて管理がなされているため、以 降は、住民基本台帳ネットワークシステムの内の都道府県サーバ及び附票連携システムの内の附票都 道府県サーバ部分について記載する。

2. 特定個人情報ファイル名

- (1)都道府県知事保存本人確認情報ファイル
- (2)都道府県知事保存附票本人確認情報ファイル

3. 個人番号の利用				
法令上の根拠	・第30条の6(市町村長から都道府 ・第30条の7(都道府県知事から樹 ・第30条の8(本人確認情報の誤り ・第30条の11(通知都道府県以外 ・第30条の15(本人確認情報の利 ・第30条の22(市町村間の連絡調 ・第30条の32(自己の本人確認情 ・第30条の35(自己の本人確認情 ・第30条の44の6第3項(都道府リ ・第30条の15の2第2項・第3項(に関する機構の通報) の都道府県の執行機関への本人確認情報の提供) 用) 整等) 報の開示)		
4. 情報提供ネットワークシ	ノステムによる情報連携			
①実施の有無	[実施しない]	<選択肢> 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定		
②法令上の根拠	_			
5. 評価実施機関における担当部署				
	<u> </u>			

企画·地域振興部市町村振興局行財政支援課

①部署

 ②所属長の役職名
 企画・地域振興部市町村振興局行財政支援課長

 6. 他の評価実施機関

 7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求

 請求先
 〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号・福岡県企画・地域振興部市町村振興局行財政支援課調整係(電話番号 092-643-3072)・福岡県総務部県民情報広報課情報公開係(電話番号 092-643-3104)

 8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ

 連絡先
 〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号福岡県企画・地域振興部市町村振興局行財政支援課調整係(電話番号 092-643-3072)

 9. 規則第9条第2項の適用
 「適用した

Ⅱ しきい値判断項目

適用した理由

1. 対象人数							
評価対象の事務の対象人数は何人か		[30万人以上]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上		
	いつ時点の計数か	令和4年	1月1日 時点				
2. 取扱者	数						
特定個人情報	特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か		500人未満]	<選択肢> 1)500人以上 2)500人未満		
	いつ時点の計数か	令和4年	1月1日 時点				
3. 重大事	3. 重大事故						
	内に、評価実施機関において特定個人 5重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし		

Ⅲ しきい値判断結果

しきい値判断結果

基礎項目評価及び全項目評価の実施が義務付けられる

Ⅳ リスク対策

1. 提出する特定個人情報	保護評価書の種類		
-	書及び全項目評価書] 施機関については、それぞれ	1重点項目評価	<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシス	くテムを通じた	-入手を除く。)
目的外の入手が行われるリ スクへの対策は十分か	[特に力を入れている	3]	<選択肢> 1)特に力を入れている 2)十分である 3)課題が残されている
3. 特定個人情報の使用			
目的を超えた紐付け、事務に 必要のない情報との紐付けが 行われるリスクへの対策は十 分か	[特に力を入れている	3]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)に セス権限のない職員等)に よって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[特に力を入れている	3]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの	の取扱いの委託		[]委託しない
委託先における不正な使用 等のリスクへの対策は十分か	[特に力を入れている	3]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移車	云(委託や情報提供ネットワー	ークシステムを	通じた提供を除く。) []提供・移転しない
不正な提供・移転が行われる リスクへの対策は十分か	[特に力を入れている	3]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシ	ステムとの接続		[〇]接続しない(入手) [〇]接続しない(提供)
目的外の入手が行われるリ スクへの対策は十分か	Ε]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスク への対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

7. 特定個人情報の保管・	消去		
特定個人情報の漏えい・滅 失・毀損リスクへの対策は十 分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 人手を介在させる作業		[]人=	Fを介在させる作業はない
人為的ミスが発生するリスク への対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	務取扱担当者間で共有する。また、人手が介在する局面ごといる。 ・特定個人情報を受け渡す際(U行うこととしている。 ・特定個人情報を受け渡す際(U行うこととしている。	に、人為的ミスが発生で JSBメモリを使用する場 SBメモリは、施錠できる	盛り込んだ事務処理手順をマニュアル化し、事するリスクに対し、例えば次のような対策を講じて会を含む。)は、事前に、パスワードによる保護をも書棚等に保管することを徹底する。 するリスクへの対策は「十分である」と考えられ
9. 監査			
実施の有無	[〇] 自己点検	[]内部監査	[] 外部監査
10. 従業者に対する教育・	啓発		
従業者に対する教育・啓発	[特に力を入れて行っている	5]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない
11. 最も優先度が高いと考	えられる対策	[0]全项	頁目評価又は重点項目評価を実施する
最も優先度が高いと考えられ る対策	3) 権限のない者によって不 4) 委託先における不正な位 5) 不正な提供・移転が行れ 6) 情報提供ネットワークシ	事務に必要のない情報の 下正に使用されるリスク 東用等のリスクへの対策のれるリスクへの対策の ステムを通じて目的外 ステムを通じて不正な ・滅失・毀損リスクへの	策 長託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) の入手が行われるリスクへの対策 提供が行われるリスクへの対策
当該対策は十分か【再掲】	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠			

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	I 関連情報/5. 評価実施機関における担当部署/②所属長	企画·地域振興部市町村支援課長 末弘 孝之	企画·地域振興部市町村支援課長 後藤 和孝	事後	
	I 関連情報/7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求/請求先	7号 •福岡県企画·地域振興部市町村支援課行政係 (電話番号 092-643-3073) •福岡県総務部県民情報広報課情報公開係(電	〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 ・福岡県企画・地域振興部市町村支援課調整係 (電話番号 092-643-3072) ・福岡県総務部県民情報広報課情報公開係(電話番号 092-643-3104)	事後	
	I 関連情報/8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ/連絡先	〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県企画·地域振興部市町村支援課行政係 (電話番号 092-643-3073)	〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県企画·地域振興部市町村支援課調整係 (電話番号 092-643-3072)	事後	
	I 関連情報/5. 評価実施機 関における担当部署/②所属 長の役職名	企画·地域振興部市町村支援課長 後藤 和孝	企画·地域振興部市町村支援課長	事後	新様式への変更
平成31年3月19日	Ⅳリスク対策			事後	新様式への変更

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和2年3月30日	I 関連情報/3. 個人番号の 利用/法令上の根拠	都道府県知事の通報) ・第30条の6(市町村長から都道府県知事への本人確認情報の通知等) ・第30条の7(都道府県知事から機構への本人確認情報の通知等) ・第30条の8(本人確認情報の誤りに関する機構の通報) ・第30条の11(通知都道府県以外の都道府県	住基法 ・第7条(住民票の記載事項) ・第12条の5(住民基本台帳の脱漏等に関する都道府県知事の通報) ・第30条の6(市町村長から都道府県知事への本人確認情報の通知等) ・第30条の7(都道府県知事から機構への本人確認情報の通知等) ・第30条の8(本人確認情報の誤りに関する機構の通報) ・第30条の11(通知都道府県以外の都道府県の執行機関への本人確認情報の提供) ・第30条の15(本人確認情報の利用) ・第30条の22(市町村間の連絡調整等) ・第30条の32(自己の本人確認情報の開示) ・第30条の35(自己の本人確認情報の訂正)	事後	
令和2年3月30日	Ⅱしきい値判断項目/1.対 象人数/いつ時点の計数か	平成27年1月1日 時点	平成31年1月1日 時点	事後	
令和2年3月30日	IIしきい値判断項目/2.取扱者数/いつ時点の計数か	平成27年1月1日 時点	平成31年1月1日 時点	事後	
	I 関連情報/7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求/請求先	7号 ·福岡県企画·地域振興部市町村支援課調整係 (電話番号 092-643-3072)	〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 ・福岡県企画・地域振興部市町村支援課企画調整係(電話番号 092-643-3072) ・福岡県総務部県民情報広報課情報公開係(電話番号 092-643-3104)	事後	
令和4年3月15日	I 関連情報/8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ/連絡先		〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県企画·地域振興部市町村支援課企画調整係(電話番号 092-643-3072)	事後	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和5年3月15日	I 関連情報/5. 評価実施機 関における担当部署/①部署	企画•地域振興部市町村支援課	企画·地域振興部市町村振興局行財政支援課	事後	
	I 関連情報/5. 評価実施機 関における担当部署/②所属 長の役職名	企画•地域振興部市町村支援課長	企画·地域振興部市町村振興局行財政支援課 長	事後	
	I 関連情報/7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求/請求先	7号 ·福岡県企画·地域振興部市町村支援課企画調 整係(電話番号 092-643-3072)	〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 ・福岡県企画・地域振興部市町村振興局行財政支援課調整係(電話番号 092-643-3072) ・福岡県総務部県民情報広報課情報公開係(電話番号 092-643-3104)	事後	
	I 関連情報/8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ/連絡先	7号	〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県企画·地域振興部市町村振興局行財政支援課調整係(電話番号 092-643-3072)	事後	
令和5年12月28日	評価書名	住民基本台帳ネットワークシステムに係る本人確認情報の管理及び提供等に関する事務 基礎項目評価書	住民基本台帳ネットワークに関する事務 基礎項目評価書	事前	
	個人のプライバシー等の権利 利益の保護の宣言	福岡県は、住民基本台帳ネットワークシステムに係る本人確認情報の管理及び提供等に関する事務における特定個人情報ファイルを取扱うにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを理解し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置をもって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを、ここに宣言する。	福岡県は、住民基本台帳ネットワークに関する 事務における特定個人情報ファイルを取扱うに あたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人 のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしか ねないことを理解し、特定個人情報の漏えいそ の他の事態を発生させるリスクを軽減させるた めに適切な措置をもって個人のプライバシー等 の権利利益の保護に取り組んでいることを、こ こに宣言する。	事前	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	個人のプライバシー等の権利 利益の保護の宣言/特記事 項		・当該システムは、委託先である地方公共団体情報システム機構が、障害や不正アクセス等を24時間監視している。 ・生体認証による操作者認証の導入やアクセス権限の適切な管理等により、事前に利用者登録をされている者以外が不正にシステムを利用することができない仕組みとなっている。・利用者がシステムを利用した際に履歴が残る仕組みとなっており、当該履歴をもとに、不正な利用がないか随時確認を行っている。・当該機構からの通知に基づき、OSのアップデートやウイルス対策ソフト等の更新を随時行っているほか、ファイアウォール等により論理的にインターネットと接続できない状態にしている。	事後	
令和5年12月28日	I 関連情報/1. 特定個人情報を取り扱う事務/①事務の名称	住民基本台帳ネットワークシステムに係る本人確認情報の管理及び提供等に関する事務	住民基本台帳ネットワークに関する事務	事前	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和5年12月28日	対理情報/ 1. 特定個人情報を取り扱う事務/②事務の	福岡県は、住民基本合帳法(昭和42年7月25日 法律第81号。以下「住基法」という。)に基づい て住民基本台帳のネットワーク化を図り、全国 共通の本人確認システムを市町村と共同して構 築している。 なお、住民基本台帳は、住基法に基づき作成されるものであり、市町村における住民の届出に 関する制度及びその住民たる地位を記録する 各種の台帳に関する制度を一元化し、もって、 住民の利便を増進するとともに行政の近代化に 対処するため、住民に関する記録を正確かつ代 一的に行うものであり、市町村において、住民 の居住関係の公証、選挙人名簿の登録、その 他住民に関する事務の処理の基礎となるもので ある。	事務 福岡県は、住民基本台帳法(昭和42年7月25日 法律第81号。以下「住基法」という。)に基づい て住民基本台帳のネットワーク化を図り、全国 共通の本人確認システムを市町村と共同して構 築している。	事前	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和5年12月28日	同上	特定個人情報を以下の事務で取り扱う。 ①磁気ディスクによる特定個人情報ファイルの管理 ②市町村からの本人確認情報(*)に係る変更の通知に基づく特定個人情報ファイルの更新及び地方公共団体情報システム機構(以下「機構」という。)への通知 ③福岡県知事から本人確認情報に係る福岡県のその他の執行機関への提供又は他の部署への移転 ④住民による請求に基づく当該個人の本人確認情報の開示並びに開示結果に基づく住民からの本人確認情報の訂正、追加又は削除の申出に対する調査 ⑤機構への本人確認情報の照会 *本人確認情報とは、4情報(氏名、性別、生年月日及び住所)、住民票コード、個人番号及びこ	具体的に福岡県では、住基法の規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。 ①磁気ディスクによる特定個人情報ファイルの管理 ②市町村からの本人確認情報(*)に係る変更の通知に基づく特定個人情報シアイルの更新及び地方公共団体情報システム機構(以下「機構」という。)への通知 ③福岡県知事から本人確認情報に係る福岡県のその他の執行機関への提供又は他の部署への移転 ④住民による請求に基づく当該個人の本人確認情報の開示並びに開示結果に基づくは関係の申出に対する調査 ⑤機構への本人確認情報の照会 *本人確認情報とは、4情報(氏名、性別、生年月日及び住所)、住民票コード、個人番号及びこれらの変更情報のことをいう。以下同じ。	事前	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和5年12月28日	同上		2. 附票本人確認情報の管理及び提供等に関する事務福岡県は、市町村における市町村区S、都道における市町村区が機構において、都道における所票を国力において、国外転としての機構にあいまたのの社会の方式を、4情報にあり、4情報には、10のででは、10のでは、10のででは、10のででは、10のででは、10のでは、10のででは、10の	事前	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和5年12月28日	I 関連情報/1. 特定個人情 報を取り扱う事務/③システ ム名	住民基本台帳ネットワークシステム *後述の「2. 特定個人情報ファイル名」に示す「都道府県知事保存本人確認情報ファイル」は、住民基本台帳ネットワークシステムの構成要素のうち、都道府県サーバにおいて管理がなされているため、以降は、住民基本台帳ネットワークシステムの内の都道府県サーバ部分について記載する。	(1)住民基本台帳ネットワークシステム (2)附票連携システム *後述の「2. 特定個人情報ファイル名」に示す 「都道府県知事保存本人確認情報ファイル」及 び「都道府県知事保存附票本人確認情報ファイル」は、住民基本台帳ネットワークシステムの構 成要素のうち、都道府県サーバ及び附票都道 府県サーバにおいて管理がなされているため、 以降は、住民基本台帳ネットワークシステムの 内の都道府県サーバ及び附票連携システムの 内の附票都道府県サーバ部分について記載す る。	事前	
令和5年12月28日	2. 特定個人情報ファイル名	都道府県知事保存本人確認情報ファイル	(1)都道府県知事保存本人確認情報ファイル (2)都道府県知事保存附票本人確認情報ファイ ル	事前	
令和5年12月28日	I 関連情報/3. 個人番号の 利用/法令上の根拠	住基法 ・第7条(住民票の記載事項) ・第12条の5(住民基本台帳の脱漏等に関する都道府県知事の通報) ・第30条の6(市町村長から都道府県知事への本人確認情報の通知等) ・第30条の7(都道府県知事から機構への本人確認情報の通知等) ・第30条の8(本人確認情報の誤りに関する機構の通報) ・第30条の11(通知都道府県以外の都道府県の執行機関への本人確認情報の提供) ・第30条の15(本人確認情報の利用) ・第30条の15(本人確認情報の利用) ・第30条の32(自己の本人確認情報の開示) ・第30条の35(自己の本人確認情報の訂正)	住基法 ・第7条(住民票の記載事項) ・第12条の5(住民基本台帳の脱漏等に関する都道府県知事の通報) ・第30条の6(市町村長から都道府県知事への本人確認情報の通知等) ・第30条の7(都道府県知事から機構への本人確認情報の通知等) ・第30条の8(本人確認情報の誤りに関する機構の通報) ・第30条の11(通知都道府県以外の都道府県の執行機関への本人確認情報の利用) ・第30条の15(本人確認情報の利用) ・第30条の22(市町村間の連絡調整等) ・第30条の32(自己の本人確認情報の開示) ・第30条の35(自己の本人確認情報の訂正) ・第30条の44の6第3項(都道府県知事保存附票本人確認情報(住民票コードに限る。)の利用)	事前	
令和5年12月28日	Ⅱしきい値判断項目/1.対 象人数/いつ時点の計数か	平成31年1月1日 時点	令和4年1月1日 時点	事後	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和5年12月28日	Ⅱしきい値判断項目/2.取 扱者数/いつ時点の計数か	平成31年1月1日 時点	令和4年1月1日 時点	事後	
令和7年3月17日	I 関連情報/3. 個人番号の 利用/法令上の根拠	確認情報の通知等) ・第30条の8(本人確認情報の誤りに関する機構の通報) ・第30条の11(通知都道府県以外の都道府県の執行機関への本人確認情報の提供) ・第30条の15(本人確認情報の利用) ・第30条の22(市町村間の連絡調整等) ・第30条の32(自己の本人確認情報の開示) ・第30条の35(自己の本人確認情報の訂正)	住基法 ・第7条(住民票の記載事項) ・第12条の5(住民基本台帳の脱漏等に関する都道府県知事の通報) ・第30条の6(市町村長から都道府県知事への本人確認情報の通知等) ・第30条の7(都道府県知事から機構への本人確認情報の通知等) ・第30条の8(本人確認情報の誤りに関する機構の通報) ・第30条の11(通知都道府県以外の都道府県の執行機関への本人確認情報の提供) ・第30条の15(本人確認情報の利用) ・第30条の22(市町村間の連絡調整等) ・第30条の32(自己の本人確認情報の開示) ・第30条の35(自己の本人確認情報の訂正) ・第30条の44の6第3項(都道府県知事保存附票本人確認情報(住民票コードに限る。)の利用) ・第30条の15の2第2項・第3項(準法定事務処理者への本人確認情報の提供等) ・第30条の44の7第2項・第3項(準法定事務処理者への附票本人確認情報の提供等)	事後	
令和7年3月17日	I 関連情報/9. 規則第9条 第2項の適用			事後	新様式への変更
令和7年3月17日	IVリスク対策/8. 人手を介在させる作業/人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か		十分である	事後	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	IVリスク対策/8. 人手を介在させる作業/人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か/判断の根拠		住基ネット照会を行う際、人為的ミスを防止する対策を盛り込んだ事務処理手順をマニュアル化し、事務取扱担当者間で共有する。また、人手が介在する局面ごとに、人為的ミスが発生するリスクに対し、例えば次のような対策を講じている。・特定個人情報を受け渡す際(USBメモリを使用する場合を含む。)は、事前に、パスワードによる保護を行うこととしている。・特定個人情報を含む書類やUSBメモリは、施錠できる書棚等に保管することを徹底する。これらの対策を講じていることから、人為的ミスが発生するリスクへの対策は「十分である」と考えられる。	事後	
令和7年3月17日	IVリスク対策/11. 最も優先度が高いと考えられる対策			事後	新様式への変更